

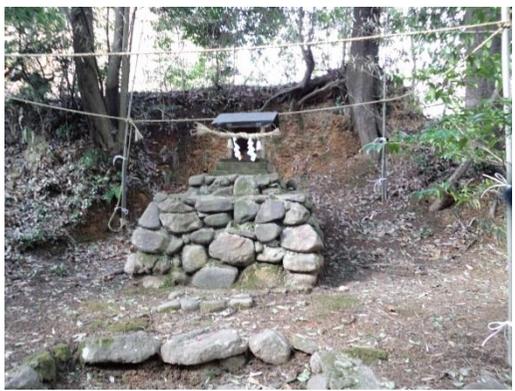
⑦の組

49 ～ 池の尻池 ～ ⑦の組



この地を「いけのじり」と呼び灌漑用水として稲作に活用している。池掛かりは下方の6戸。右上の道路は 小田城址に通じる車道である。

51～天王社～ ⑦の組



圃場整備前は 北方の尾根の上方にあったが 尾根を堀切って圃場としたため下方に移設して祀った。
2年に一度 氏子が 他の神さんと一緒にして谷の祭りを行っている。

53 ～ 天王原荒神 ～ ⑦の組



この地を「てんのうばら」と呼んでいて昔から地元の人が 祀って世話をしている。
「荒神信仰」は西日本 特に瀬戸内海沿岸地方で盛んであったようで広島県内でも荒神社は140社あるとか。諸説あるが 仏教の伝来と共にインドで行われた夜叉・羅刹などの悪神を祀り これを以って守護神としたと云う (仏教による荒神信仰である)。

54 ～ 千人塚 (首塚) ～ ⑦の組



千人塚は戦人の読みからそのように呼ばれたと考えられる。
伝説は 別として小田の地では戦争らしい戦いの記録は残っていない。農民同士の食料の争奪戦があったらしく亡くなった人の首 供養した所であると云われている。
そばに「榎(えのき)」が植えられている。

50 ～ お蔭灯籠～ ⑦の組



元は 大田家 (7の組) の前の県道の側で参道の入り口の 宮渡橋の手前に建っていた。県道437の改修と圃場整備で八幡神社門前に移設した。平成13(2001)年3月24日の芸予大地震でも倒壊しなかった。まさに「おかげ」があった。

52 ～ 宮渡橋～ ⑦の組



以前は狭い橋であったが 保養施設「賀茂の里」建設(現廃止)で「みやとばし」は幅広くて近代的な橋に 掛け替えられた。
小田八幡神社への北側からの参道の入り口橋。今も大祭などで 車道橋となっている。